

Goal Note ☘Cloud移行について


〔目的〕

- ・2023シーズンから「大会概要、日程・会場登録・結果表示」をGoal Note ☘Cloudに変更します。
大会運営の作成負担を削減すると共に、登録チームに対して簡明で迅速な情報の発信を提供することを目的としています。


〔Goal Note Cloudについて〕

GoalNoteクラウドって？

サッカー・フットサル・ビーチサッカー大会の結果（スコア、得点者、出場メンバーなど）の公開をお手伝いする、入力・集計機能を備えたサービスです。

リアルタイム更新


大会結果シェア


大会結果自動集計


〔Goal Note Cloudのメリットについて〕

スコアの連絡、
まだかなぁ…



各会場で結果を入力



自動で集計・表示！

戦績表、順位表、トーナメント表などは、自動で集計・表示します。
各試合会場の担当者が、スコア（得点）を入力すると、自動的に表示されます。

試合結果
どうだったんだろう？



いつでも
どこでも
確認！



スマートフォン、パソコン、タブレット、携帯電話から、いつでもどこからでも試合結果を確認できます。

各会場で結果を入力することで、自動で集計・表示するので誤りにより修正のムダがなくなり、よりタイムリーな発信も可能となる。

次のページからGoal Note ☘Cloudに展開する2023シーズン全カテゴリーの大会概要となります。ご確認をお願いします

(2023シーズン春季市民サッカー大会トーナメント方式 一般の部)

大会名	2023年度 船橋市春季市民サッカー大会 一般の部
主催	船橋市教育委員会、船橋市スポーツ協会
主管	船橋市サッカー協会第1種委員会
期日	4月～6月
会場	船橋市内会場
競技形式	<ul style="list-style-type: none"> ● 当トーナメントは参加資格を得たチームで組織し、船橋市1種の実行委員会（運営委員会）を設け自主運営とする。 ● 当トーナメントはノックアウト方式として順位を決定する。 試合時間は全て60分（30分ハーフ）としハーフタイムのインターバルは原則として5分とする。 延長戦は行わない。同点の場合は、PK戦により決定する。 ただし、準決勝及び決勝戦については20分間の延長戦を行い、同点の場合は、PK戦により決定する。 ● 1 試合中の交代選手は無制限とする。ただし交代は、提出されたメンバー票に記載された選手に限る。
競技規則	<ul style="list-style-type: none"> ● 2023/24（公財）日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則」による。 ただし、以下の項目については本大会規定を定める <ol style="list-style-type: none"> 大会参加申し込みした選手のうち、各試合の登録選手は無制限とする。競技開始前のメンバー票と試合時の背番号が一致すること。 交代に関しては競技開始前に登録した選手から人数は無制限とし、交代票を使用する 本大会において退場を命じられた者（警告2枚での退場者を含む）は、次の公式試合1試合に出場できない。 悪質と認められる場合の処置については、運営委員会で協議しこれを裁定する。 なお、トーナメントにおける警告処分は、持ち越さないものとする。 ユニフォームは、団体登録で記載した正副2着を必ず携帯すること。 （FP・GK共に副は、シャツ・ショーツ・ストッキングそれぞれ正と明瞭に区別された異色のものであること） 雨天は、原則決行とする。 試合球のボールは2球持ち寄りとする（公認球） メンバー票はゲーム開始5分前に審判に提出する 使用するメンバー票は「当日チーム利用者名簿＆メンバーシート」を利用する。 飲水タイム・クーリングブレイクについては実施規則とし、概ね7月から9月末までとなっているので本大会では基本、設けない。 ただし、WBGTの指標としWBGT（湿球黒球温度）が25℃以上の場合は「飲水タイム」または「クーリングブレイク」を、28℃以上では「クーリングブレイク」を行うこともある。 その場合の判断は、運営委員が大会運営部長に事前に確認を取り、適用する。 審判員は、試合を行うチーム以外の2チームより各2名の計4名を選出し、一方のチームは主審と第4審判、他方のチームは副審を担当する。なお、割り当てについては、運営部で決定する。 主審については、必ず有資格者が行う。また、副審及び第4審判についても有資格者が行うことが好ましい。 決勝及び準決勝の審判は審判委員会が担当する。 両チームの代表者、それと審判団が集まってマッチミーティングをおこなうこと。 審判の時間の割り当ては下記の通りとする。 1日3試合の場合は、 第1試合⇒第3試合の両チーム 第2試合⇒第1試合の両チーム 第3試合⇒第2試合の両チーム 1日2試合または4試合の場合は、 第1試合⇒第2試合の両チーム 第2試合⇒第1試合の両チーム 第3試合⇒第4試合の両チーム 第4試合⇒第3試合の両チーム

	<p>10. 試合途中でも雷鳴が聞こえたり雷雲が近づいたりする様子がある時は、試合続行の可否を運営委員若しくは審判委員会が判断、協議し決定する。</p> <p>11. 新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインに沿って運営・参加する。</p> <p>12. チーム内(選手)にコロナウイルス感染者が出て出場が許可されない場合、不戦敗とする。</p>
中止・中断について	<p>試合中における中止・中断の決定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 会場の運営委員の判断に委ねるものとする 原則雨天決行とするが、グラウンドコンディション不良（ラインが引けない）等による中止の場合は当日、朝7時30分までに決定し、運営委員より各チーム代表者へ連絡する。 ● その後の処置は実行委員会（運営委員会）において協議の上決定する ● 雷の音が鳴ってから試合再開までの待機時間は最大30分とする(最後の雷から20分後に再開) 一般の部の後にシニアの部が予定されている場合は、運営委員は大会運営部長に連絡する。 ● 一方の責任により中止になった場合は、帰責事由のあるチームを0対5の負けとする。 ● 大会実施要項に記載されていない事項については、大会実行委員会（運営委員会）において協議の上決定する。
棄権について	<ul style="list-style-type: none"> ● 棄権としての厳罰は、しない。 勝敗については、棄権したチームを0対5の負けとする。 ただし、棄権の連絡は5日前を厳守として、連絡をおこなう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 棄権の理由として、選手が不足し棄権している場合、棄権の連絡を5日前にて適正に進めた場合助っ人は可能とし、交流戦としての対戦を認める。（その場合もルールは本大会の競技規則に則る） 交流戦としての対戦は運営部で組み合わせを事前におこない、実施させること。 ・ 棄権の連絡が5日前を過ぎた場合は、交流戦は認めず、審判員として4名派遣の審判責務は生じる。 その対象チームは運営規定に則り、運営委員会で協議しチーム警告とする。 （感染症・伝染病などの理由で参加が難しい場合は協議の上、決定する） ・ 棄権を2回以上した場合、特段の悪質とみなし厳罰対象を重くし、運営委員会で審議し、処分を決定する。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ● トーナメントの抽選を対面で実施しない場合、自動抽選のくじ引きツールを使用し適正な方法で実施する。 その場合、大会実行委員は、抽選の正当性を保有するため、抽選時の動画と共に結果を周知すること。 ● コロナ対策関係は、健康チェックシート等、船橋市サッカー協会のガイドラインに従う。 ● コロナワクチン接種後については、一時的に免疫力が下がることを避けるために激しい運動は禁止となるため、1週間程度、参加は無理をさせないようにチームで選手の管理をすること。 ● 運営部は感染症対策（検温器・アルコール消毒液・除菌洗剤）を準備設営をおこない、参加チームの選手個人も自主的に備品の準備を行い、感染症の自衛に努めること。 ● 会場に迷惑をかけないこと。（会場運営ガイドラインに則り、利用する） 会場利用について、特例の案内が来た場合は、運営部は速やかに、別紙として注意喚起をおこなうこと。 ● 事故・ケガ等が発生した場合は、必ず運営部に報告する。また処置については、救急対応マニュアルを参照し、救護については、各チームにて責任をもってあたること。 ● 審判報告書は、主審が所定の様式にて試合の当日中に運営委員へ手渡しをおこない、運営委員は運営部に報告する。大会実行委員は速やかに、大会結果をgoalnotecloudに展開する。 ● 本大会の優勝及び準優勝チームには、翌年のシード権の資格を与える。

(2023シーズン 第37回船橋市サッカー選手権大会トーナメント方式 一般の部)

大会名	2023年度 第37回船橋市サッカー選手権大会 一般の部
主催	船橋市サッカー協会
主管	船橋市サッカー協会第1種委員会
期日	7月～9月
会場	船橋市内会場
競技形式	<ul style="list-style-type: none"> ● 当トーナメントは参加資格を得たチームで組織し、船橋市1種の実行委員会（運営委員会）を設け自主運営とする。 ● 本大会のシード権は、前回大会の第36回優勝および準優勝チームを優先する。 ● 当トーナメントはノックアウト方式として順位を決定する。 試合時間は全て60分（30分ハーフ）としハーフタイムのインターバルは原則として5分とする。 延長戦は行わない。同点の場合は、PK戦により決定する。 ただし、準決勝及び決勝戦については20分間の延長戦を行い、同点の場合は、PK戦により決定する。 ● 1試合中の交代選手は無制限とする。ただし交代は、提出されたメンバー票に記載された選手に限る。
競技規則	<ul style="list-style-type: none"> ● 2023/24（公財）日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則」による。 ただし、以下の項目については本大会規定を定める <ol style="list-style-type: none"> 1. 大会参加申し込みした選手のうち、各試合の登録選手は無制限とする。競技開始前のメンバー票と試合時の背番号が一致すること。 2. 交代に関しては競技開始前に登録した選手から人数は無制限とし、交代票を使用する 3. 本大会において退場を命じられた者（警告2枚での退場者を含む）は、次の公式試合1試合に出場できない。 悪質と認められる場合の処置については、運営委員会で協議しこれを裁定する。 なお、トーナメントにおける警告処分は、持ち越さないものとする。 4. ユニフォームは、団体登録で記載した正副2着を必ず携帯すること。 （FP・GK共に副は、シャツ・ショーツ・ストッキングそれぞれ正と明瞭に区別された異色のものであること） 5. 雨天は、原則決行とする。 6. 試合球のボールは2球持ち寄りとする（公認球） 7. メンバー票はゲーム開始5分前に審判に提出する 使用するメンバー票は「当日チーム利用者名簿＆メンバーシート」を利用する。 8. 本大会では、飲水タイム・クーリングブレイクを実施する。 WBGTの指標としWBGT（湿球黒球温度）が25℃以上の場合は「飲水タイム」または「クーリングブレイク」を、28℃以上では「クーリングブレイク」を行う。 9. 審判員は、試合を行うチーム以外の2チームより各2名の計4名を選出し、一方のチームは主審と第4審判、他方のチームは副審を担当する。なお、割り当てについては、運営部で決定する。 主審については、必ず有資格者が行う。また、副審及び第4審判についても有資格者が行うことが好ましい。 決勝及び準決勝の審判は審判委員会が担当する。 両チームの代表者、それと審判団が集まってマッチミーティングをおこなうこと。 <p>審判の時間の割り当ては下記の通りとする。</p> <p>1日3試合の場合は、 第1試合⇒第3試合の両チーム 第2試合⇒第1試合の両チーム 第3試合⇒第2試合の両チーム</p> <p>1日2試合または4試合の場合は、 第1試合⇒第2試合の両チーム 第2試合⇒第1試合の両チーム 第3試合⇒第4試合の両チーム 第4試合⇒第3試合の両チーム</p>

	<p>10. 試合途中でも雷鳴が聞こえたり雷雲が近づいたりする様子がある時は、試合続行の可否を運営委員若しくは審判委員会が判断、協議し決定する。</p> <p>11. 新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインに沿って運営・参加する。</p> <p>12. チーム内(選手)にコロナウイルス感染者が出て出場が許可されない場合、不戦敗とする。</p>
中止・中断について	<p>試合中における中止・中断の決定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 会場の運営委員の判断に委ねるものとする 原則雨天決行とするが、グラウンドコンディション不良（ラインが引けない）等による中止の場合は当日、朝7時30分までに決定し、運営委員より各チーム代表者へ連絡する。 ● その後の処置は実行委員会（運営委員会）において協議の上決定する ● 雷の音が鳴ってから試合再開までの待機時間は最大30分とする(最後の雷から20分後に再開) 一般の部の後にシニアの部が予定されている場合は、運営委員は大会運営部長に連絡する。 ● 一方の責任により中止になった場合は、帰責事由のあるチームを0対5の負けとする。 ● 大会実施要項に記載されていない事項については、大会実行委員会（運営委員会）において協議の上決定する。
棄権について	<ul style="list-style-type: none"> ● 棄権としての厳罰は、しない。 勝敗については、棄権したチームを0対5の負けとする。 ただし、棄権の連絡は5日前を厳守として、連絡をおこなう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 棄権の理由として、選手が不足し棄権している場合、棄権の連絡を5日前にて適正に進めた場合助っ人は可能とし、交流戦としての対戦を認める。（その場合もルールは本大会の競技規則に則る） 交流戦としての対戦は運営部で組み合わせを事前におこない、実施させること。 ・ 棄権の連絡が5日前を過ぎた場合は、交流戦は認めず、審判員として4名派遣の審判責務は生じる。 その対象チームは運営規定に則り、運営委員会で協議しチーム警告とする。 （感染症・伝染病などの理由で参加が難しい場合は協議の上、決定する） ・ 棄権を2回以上した場合、特段の悪質とみなし厳罰対象を重くし、運営委員会で審議し、処分を決定する。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ● トーナメントの抽選を対面で実施しない場合、自動抽選のくじ引きツールを使用し適正な方法で実施する。 その場合、大会実行委員は、抽選の正当性を保有するため、抽選時の動画と共に結果を周知すること。 ● コロナ対策関係は、健康チェックシート等、船橋市サッカー協会のガイドラインに従う。 ● コロナワクチン接種後については、一時的に免疫力が下がることを避けるために激しい運動は禁止となるため、1週間程度、参加は無理をさせないようにチームで選手の管理をすること。 ● 運営部は感染症対策（検温器・アルコール消毒液・除菌洗剤）を準備設営をおこない、参加チームの選手個人も自主的に備品の準備を行い、感染症の自衛に努めること。 ● 会場に迷惑をかけないこと。（会場運営ガイドラインに則り、利用する） 会場利用について、特例の案内が来た場合は、運営部は速やかに、別紙として注意喚起をおこなうこと。 ● 事故・ケガ等が発生した場合は、必ず運営部に報告する。また処置については、救急対応マニュアルを参照し、救護については、各チームにて責任をもってあたること。 ● 審判報告書は、主審が所定の様式にて試合の当日中に運営委員へ手渡しをおこない、運営委員は運営部に報告する。大会実行委員は速やかに、大会結果をgoalnotecloudに展開する。 ● 本大会の優勝及び準優勝チームには、翌年のシード権の資格を与える。

(2023シーズン 秋季市民サッカー大会リーグ戦方式 一般の部)

大会名	2023年度 船橋市秋季市民サッカー大会 一般の部
主催	船橋市教育委員会、船橋市スポーツ協会
主管	船橋市サッカー協会第1種委員会
期日	9月～3月
会場	船橋市内会場
競技形式	<ul style="list-style-type: none"> ● 当リーグ戦は参加資格を得たチームで組織し、船橋市1種の実行委員会（運営委員会）を設け自主運営とする。 ● 当リーグは1回戦総当たりとし順位を決定する。 試合時間は全て60分（30分ハーフ）としハーフタイムのインターバルは原則として5分とする。 延長戦は行わない。 ● 順位は次に記すとおり、勝ち点・得失点差・得点率他の順によって決定する。 ① 勝ち点（勝＝3点、分＝1点、負＝0点）、② 得失点差（総得点－総失点） ③ 得点率（総得点÷総失点）、④ 当該チームの勝敗結果 ● 1試合中の交代選手は無制限とする。ただし交代は、提出されたメンバー票に記載された選手に限る。
競技規則	<ul style="list-style-type: none"> ● 2023/24（公財）日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則」による。 ただし、以下の項目については本大会規定を定める <ol style="list-style-type: none"> 大会参加申し込みした選手のうち、各試合の登録選手は無制限とする。競技開始前のメンバー票と試合時の背番号が一致すること。 交代に関しては競技開始前に登録した選手から人数は無制限とし、交代票を使用する 本大会において退場を命じられた者（警告2枚での退場者を含む）は、次の公式試合1試合に出場できない。 悪質と認められる場合の処置については、運営委員会で協議しこれを裁定する。 なお、リーグ戦における警告処分は、持ち越さないものとする。 ユニフォームは、団体登録で記載した正副2着を必ず携帯すること。 （FP・GK共に副は、シャツ・ショーツ・ストッキングそれぞれ正と明瞭に区別された異色のものであること） 雨天は、原則決行とする。 試合球のボールは2球持ち寄りとする（公認球） メンバー票はゲーム開始5分前に審判に提出する 使用するメンバー票は「当日チーム利用者名簿＆メンバーシート」を利用する。 飲水タイム・クーリングブレイクについては実施規則とし、概ね7月から9月末までとなっているので本大会では10月以降は、基本、設けない。 ただし、WBGTの指標としWBGT（湿球黒球温度）が25℃以上の場合は「飲水タイム」または「クーリングブレイク」を、28℃以上では「クーリングブレイク」を行うこともある。 その場合の判断は、運営委員が大会運営部長に事前に確認を取り、適用する。 審判員は、試合を行うチーム以外の2チームより各2名の計4名を選出し、一方のチームは主審と第4審判、他方のチームは副審を担当する。なお、割り当てについては、運営部で決定する。 主審については、必ず有資格者が行う。また、副審及び第4審判についても有資格者が行うことが好ましい。 <p>審判の時間の割り当ては下記の通りとする。</p> <p>1日3試合の場合は、 第1試合⇒第3試合の両チーム 第2試合⇒第1試合の両チーム 第3試合⇒第2試合の両チーム</p> <p>1日2試合または4試合の場合は、 第1試合⇒第2試合の両チーム 第2試合⇒第1試合の両チーム 第3試合⇒第4試合の両チーム 第4試合⇒第3試合の両チーム</p>

	<p>10. 試合途中でも雷鳴が聞こえたり雷雲が近づいたりする様子がある時は、試合続行の可否を運営委員若しくは審判委員会が判断、協議し決定する。</p> <p>11. 新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインに沿って運営・参加する。</p> <p>12. チーム内(選手)にコロナウイルス感染者が出て出場が許可されない場合、不戦敗とする。</p> <p>13. 各リーグの入替数は、基本的には上位2チームを自動昇格し、下位2チームを自動降格とする。</p> <p>14. 運営部から発信後の試合日の日程変更は、原則出来ないこととする。</p>
中止・中断について	<p>試合中における中止・中断の決定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 会場の運営委員の判断に委ねるものとする 原則雨天決行とするが、グラウンドコンディション不良（ラインが引けない）等による中止の場合は当日、朝7時30分までに決定し、運営委員より各チーム代表者へ連絡する。 ● その後の処置は実行委員会（運営委員会）において協議の上決定する ● 雷の音が鳴ってから試合再開までの待機時間は最大30分とする(最後の雷から20分後に再開) 一般の部の後にシニアの部が予定されている場合は、運営委員は大会運営部長に連絡する。 ● 一方の責任により中止になった場合は、帰責事由のあるチームを0対5の負けとする。 ● 大会実施要項に記載されていない事項については、大会実行委員会（運営委員会）において協議の上決定する。
棄権について	<ul style="list-style-type: none"> ● 棄権としての厳罰は、しない。 勝敗については、棄権したチームを0対5の負けとする。 ただし、棄権の連絡は5日前を厳守として、連絡をおこなう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 棄権の理由として、選手が不足し棄権している場合、棄権の連絡を5日前にて適正に進めた場合助っ人は可能とし、交流戦としての対戦を認める。（その場合もルールは本大会の競技規則に則る） 交流戦としての対戦は運営部で組み合わせを事前におこない、実施させること。 ・ 棄権の連絡が5日前を過ぎた場合は、交流戦は認めず、審判員として4名派遣の審判責務は生じる。 その対象チームは運営規定に則り、運営委員会で協議しチーム警告とする。 （感染症・伝染病などの理由で参加が難しい場合は協議の上、決定する） ・ 棄権を2回以上した場合、特段の悪質とみなし厳罰対象を重くし、運営委員会で審議し、処分を決定する。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ● コロナ対策関係は、健康チェックシート等、船橋市サッカー協会のガイドラインに従う。 ● コロナワクチン接種後については、一時的に免疫力が下がることを避けるために激しい運動は禁止となるため、1週間程度、参加は無理をさせないようにチームで選手の管理をすること。 ● 運営部は感染症対策（検温器・アルコール消毒液・除菌洗剤）を準備設営をおこない、参加チームの選手個人も自主的に備品の準備を行い、感染症の自衛に努めること。 ● 会場に迷惑をかけること。（会場運営ガイドラインに則り、利用する） 会場利用について、特例の案内が来た場合は、運営部は速やかに、別紙として注意喚起をおこなうこと。 ● 事故・ケガ等が発生した場合は、必ず運営部に報告する。また処置については、救急対応マニュアルを参照し、救護については、各チームにて責任をもってあたること。 ● 審判報告書は、主審が所定の様式にて試合の当日中に運営委員へ手渡しをおこない、運営委員は運営部に報告する。大会実行委員は速やかに、大会結果をgoalnotecloudに展開する。

(2023シーズン春季市民サッカー大会トーナメント方式 シニアの部O35)

大会名	2023年度 船橋市春季市民サッカー大会 シニアの部O35
主催	船橋市教育委員会、船橋市スポーツ協会
主管	船橋市サッカー協会第1種委員会
期日	4月～6月
会場	船橋市内会場
競技形式	<ul style="list-style-type: none"> ● 当トーナメントは参加資格を得たチームで組織し、船橋市1種の実行委員会（運営委員会）を設け自主運営とする。 ● 当トーナメントはノックアウト方式として順位を決定する。 試合時間は全て50分（25分ハーフ）としハーフタイムのインターバルは原則として5分とする。 延長戦は行わない。同点の場合は、PK戦により決定する。 ただし、準決勝及び決勝戦については20分間の延長戦を行い、同点の場合は、PK戦により決定する。 ● 1 試合中の交代選手は無制限とする。ただし交代は、提出されたメンバー票に記載された選手に限る。
競技規則	<ul style="list-style-type: none"> ● 2023/24（公財）日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則」による。 ただし、以下の項目については本大会規定を定める <ol style="list-style-type: none"> 大会参加申し込みした選手のうち、各試合の登録選手は無制限とする。競技開始前のメンバー票と試合時の背番号が一致すること。 メンバーの交代は常時可能とする。交代したメンバーが再度交代メンバーにもなれる。 自由な交代を認める。交代の時は本部、審判に確認をし、指示を受けてから入る。 選手登録をしていれば、チーム事情により人数が不足している場合のみ、選手の貸し借りを許可し、重複出場選手として出場可能とする。 勢力均衡（バランスオブパワー）を保つため、貸し借りによる出場選手は4名までとする。 本大会において退場を命じられた者（警告2枚での退場者を含む）は、次の公式試合1試合に出場できない。 悪質と認められる場合の処置については、運営委員会で協議しこれを裁定する。 なお、トーナメントにおける警告処分は、持ち越さないものとする。 ユニフォームは、団体登録で記載した正副2着を必ず携帯すること。 （FP・GK共に副は、シャツ・ショーツ・ストッキングそれぞれ正と明瞭に区別された異色のものであること） ただし、対戦相手と色が重なった場合にはビブスの着用を可とする。 雨天は、原則決行とする。 試合球のボールは2球持ち寄りとする（公認球） メンバー表はゲーム開始5分前に審判に提出する 使用するメンバー票は「当日チーム利用者名簿＆メンバーシート」を利用する。 飲水タイム・クーリングブレイクについては実施規則とし、概ね7月から9月末までとなっているので本大会では基本、設けない。 ただし、WBGTの指標としWBGT（湿球黒球温度）が25℃以上の場合には「飲水タイム」または「クーリングブレイク」を、28℃以上では「クーリングブレイク」を行うこともある。 その場合の判断は、運営委員が大会運営部長に事前に確認を取り、適用する。 審判員は、試合を行うチーム以外の2チームより各2名の計4名を選出し、一方のチームは主審と第4審判、他方のチームは副審を担当する。なお、割り当てについては、運営部で決定する。 主審については、必ず有資格者が行う。また、副審及び第4審判についても有資格者が行うことが好ましい。 審判員は、主審、副審とも審判服（黒）が望ましいが、試合チームと異色のものであって、はっきりと確認できる場合は、黒以外の服装でも可とする。（ビブス等） 決勝及び準決勝の審判は審判委員会が担当する。 両チームの代表者、それと審判団が集まってマッチミーティングをおこなうこと。

	<p>審判の時間の割り当ては下記の通りとする。</p> <p>1日3試合の場合は、 第1試合⇒第2試合のホームチーム 第2試合⇒第1試合のホームチーム・第3試合アウェイチーム 第3試合⇒第2試合のアウェイチーム</p> <p>1日2試合または4試合の場合は、 第1試合⇒第2試合の両チーム 第2試合⇒第1試合の両チーム 第3試合⇒第4試合の両チーム 第4試合⇒第3試合の両チーム</p> <p>10. 正当なものであっても、相手選手と接触あるいは干渉するスライディング プレーの禁止。 (直接FK、イエローカード対象) * スライディングとは足以外の体の部位（太腿・お尻・手など）が地面に接することをいう。 * スライディングについてはルール補足事項を参照する。 * 危険な行為及び非紳士の行為等で指示に従わない時は、レフリーの権限で選手交代を促すことができる。 * シンピンの適用。(退場とせず、交代を即し冷静な判断ができるようにし、再出場を認めるなどの誘導をする。)</p> <p>11. 試合途中でも雷鳴が聞こえたり雷雲が近づいたりする様子がある時は、試合続行の可否を運営委員若しくは審判委員会が判断、協議し決定する。</p> <p>12. 新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインに沿って運営・参加する。</p> <p>13. チーム内(選手)にコロナウイルス感染者が出て出場が許可されない場合、不戦敗とする。</p>
中止・中断について	<p>試合中における中止・中断の決定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 会場の運営委員の判断に委ねるものとする 原則雨天決行とするが、グラウンドコンディション不良（ラインが引けない）等による中止の場合は当日、朝7時30分までに決定し、運営委員より各チーム代表者へ連絡する。 ● その後の処置は実行委員会（運営委員会）において協議の上決定する ● 雷の音が鳴ってから試合再開までの待機時間は最大30分とする(最後の雷から20分後に再開) ● 一方の責任により中止になった場合は、帰責事由のあるチームを0対5の負けとする。 ● 大会実施要項に記載されていない事項については、大会実行委員会（運営委員会）において協議の上決定する。
棄権について	<ul style="list-style-type: none"> ● 棄権としての厳罰は、しない。 勝敗については、棄権したチームを0対5の負けとする。 ただし、棄権の連絡は5日前を厳守として、連絡をおこなう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 選手不足等の理由で棄権をする場合は、棄権の連絡を5日前までに適正に実施すること。 交流戦としても対戦を認める。(その場合もルールは本大会の競技規則に則る) 交流戦としての対戦は運営部で組み合わせを事前におこない、実施させること。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ● トーナメントの抽選を対面で実施しない場合、自動抽選のくじ引きツールを使用し適正な方法で実施する。 その場合、大会実行委員は、抽選の正当性を保有するため、抽選時の動画と共に結果を周知すること。 ● コロナ対策関係は、健康チェックシート等、船橋市サッカー協会のガイドラインに従う。 ● コロナワクチン接種後については、一時的に免疫力が下がることを避けるために激しい運動は禁止となるため、1週間程度、参加は無理をさせないようにチームで選手の管理をすること。 ● 運営部は感染症対策（検温器・アルコール消毒液・除菌洗剤）を準備設営をおこない、参加チームの選手個人も自主的に備品の準備を行い、感染症の自衛に努めること。 ● 会場に迷惑をかけないこと。(会場運営ガイドラインに則り、利用する) 会場利用について、特例の案内が来た場合は、運営部は速やかに、別紙として注意喚起をおこなうこと。 ● 事故・ケガ等が発生した場合は、必ず運営部に報告する。また処置については、救急対応マニュアルを参照し、救護については、各チームにて責任をもってあたること。 ● 審判報告は、主審が所定の方法にて試合の当日中に運営委員へ結果を報告する。 大会実行委員は速やかに、大会結果をgoalnotecloudに展開する。 ● 本大会の優勝及び準優勝チームには、翌年のシード権の資格を与える。

(2023シーズン 第37回船橋市サッカー選手権大会トーナメント方式 シニアの部O35)

大会名	2023年度 第37回船橋市サッカー選手権大会 シニアの部O35
主催	船橋市サッカー協会
主管	船橋市サッカー協会第1種委員会
期日	7月～9月
会場	船橋市内会場
競技形式	<ul style="list-style-type: none"> ● 当トーナメントは参加資格を得たチームで組織し、船橋市1種の実行委員会（運営委員会）を設け自主運営とする。 ● 本大会のシード権は、前回大会の第36回優勝および準優勝チームを優先する。 ● 当トーナメントはノックアウト方式として順位を決定する。 試合時間は全て50分（25分ハーフ）としハーフタイムのインターバルは原則として5分とする。 延長戦は行わない。同点の場合は、PK戦により決定する。 ただし、準決勝及び決勝戦については20分間の延長戦を行い、同点の場合は、PK戦により決定する。 ● 1 試合中の交代選手は無制限とする。ただし交代は、提出されたメンバー票に記載された選手に限る。
競技規則	<ul style="list-style-type: none"> ● 2023/24（公財）日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則」による。 ただし、以下の項目については本大会規定を定める <ol style="list-style-type: none"> 1. 大会参加申し込みした選手のうち、各試合の登録選手は無制限とする。競技開始前のメンバー票と試合時の背番号が一致すること。 2. メンバーの交代は常時可能とする。交代したメンバーが再度交代メンバーにもなれる。 自由な交代を認める。交代の時は本部、審判に確認をし、指示を受けてから入る。 選手登録をしていれば、チーム事情により人数が不足している場合のみ、選手の貸し借りを許可し、重複出場選手として出場可能とする。 勢力均衡（バランスオブパワー）を保つため、貸し借りによる出場選手は4名までとする。 3. 本大会において退場を命じられた者（警告2枚での退場者を含む）は、次の公式試合1試合に出場できない。 悪質と認められる場合の処置については、運営委員会で協議しこれを裁定する。 なお、トーナメントにおける警告処分は、持ち越さないものとする。 4. ユニフォームは、団体登録で記載した正副2着を必ず携帯すること。 （FP・GK共に副は、シャツ・ショーツ・ストッキングそれぞれ正と明瞭に区別された異色のものであること） ただし、対戦相手と色が重なった場合にはビブスの着用を可とする。 5. 雨天は、原則決行とする。 6. 試合球のボールは2球持ち寄りとする（公認球） 7. メンバー票はゲーム開始5分前に審判に提出する 使用するメンバー票は「当日チーム利用者名簿＆メンバーシート」を利用する。 8. 本大会では、飲水タイム・クーリングブレイクを実施する。 WBGTの指標としWBGT（湿球黒球温度）が25℃以上の場合には「飲水タイム」または「クーリングブレイク」を、28℃以上では「クーリングブレイク」を行う。 9. 審判員は、試合を行うチーム以外の2チームより各2名の計4名を選出し、一方のチームは主審と第4審判、他方のチームは副審を担当する。なお、割り当てについては、運営部で決定する。 主審については、必ず有資格者が行う。また、副審及び第4審判についても有資格者が行うことが好ましい。 審判員は、主審、副審とも審判服（黒）が望ましいが、試合チームと異色のものであって、はっきりと確認できる場合は、黒以外の服装でも可とする。（ビブス等） 決勝及び準決勝の審判は審判委員会が担当する。 両チームの代表者、それと審判団が集まってマッチミーティングをおこなうこと。

	<p>審判の時間の割り当ては下記の通りとする。</p> <p>1日3試合の場合は、 第1試合⇒第2試合のホームチーム 第2試合⇒第1試合のホームチーム・第3試合アウェイチーム 第3試合⇒第2試合のアウェイチーム</p> <p>1日2試合または4試合の場合は、 第1試合⇒第2試合の両チーム 第2試合⇒第1試合の両チーム 第3試合⇒第4試合の両チーム 第4試合⇒第3試合の両チーム</p> <p>10. 正当なものであっても、相手選手と接触あるいは干渉するスライディング プレーの禁止。 (直接FK、イエローカード対象) * スライディングとは足以外の体の部位（太腿・お尻・手など）が地面に接することをいう。 * スライディングについてはルール補足事項を参照する。 * 危険な行為及び非紳士の行為等で指示に従わない時は、レフリーの権限で選手交代を促すことができる。 * シンピンの適用。(退場とせず、交代を即し冷静な判断ができるようにし、再出場を認めるなどの誘導をする。)</p> <p>11. 試合途中でも雷鳴が聞こえたり雷雲が近づいたりする様子がある時は、試合続行の可否を運営委員若しくは審判委員会が判断、協議し決定する。</p> <p>12. 新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインに沿って運営・参加する。</p> <p>13. チーム内(選手)にコロナウイルス感染者が出て出場が許可されない場合、不戦敗とする。</p>
中止・中断について	<p>試合中における中止・中断の決定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 会場の運営委員の判断に委ねるものとする 原則雨天決行とするが、グラウンドコンディション不良（ラインが引けない）等による中止の場合は当日、朝7時30分までに決定し、運営委員より各チーム代表者へ連絡する。 ● その後の処置は実行委員会（運営委員会）において協議の上決定する ● 雷の音が鳴ってから試合再開までの待機時間は最大30分とする(最後の雷から20分後に再開) ● 一方の責任により中止になった場合は、帰責事由のあるチームを0対5の負けとする。 ● 大会実施要項に記載されていない事項については、大会実行委員会（運営委員会）において協議の上決定する。
棄権について	<ul style="list-style-type: none"> ● 棄権としての厳罰は、しない。 勝敗については、棄権したチームを0対5の負けとする。 ただし、棄権の連絡は5日前を厳守として、連絡をおこなう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 選手不足等の理由で棄権をする場合は、棄権の連絡を5日前までに適正に実施すること。 交流戦としても対戦を認める。(その場合もルールは本大会の競技規則に則る) 交流戦としての対戦は運営部で組み合わせを事前におこない、実施させること。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ● トーナメントの抽選を対面で実施しない場合、自動抽選のくじ引きツールを使用し適正な方法で実施する。 その場合、大会実行委員は、抽選の正当性を保有するため、抽選時の動画と共に結果を周知すること。 ● コロナ対策関係は、健康チェックシート等、船橋市サッカー協会のガイドラインに従う。 ● コロナワクチン接種後については、一時的に免疫力が下がることを避けるために激しい運動は禁止となるため、1週間程度、参加は無理をさせないようにチームで選手の管理をすること。 ● 運営部は感染症対策（検温器・アルコール消毒液・除菌洗剤）を準備設営をおこない、参加チームの選手個人も自主的に備品の準備を行い、感染症の自衛に努めること。 ● 会場に迷惑をかけること。（会場運営ガイドラインに則り、利用する） 会場利用について、特例の案内が来た場合は、運営部は速やかに、別紙として注意喚起をおこなうこと。 ● 事故・ケガ等が発生した場合は、必ず運営部に報告する。また処置については、救急対応マニュアルを参照し、救護については、各チームにて責任をもってあたること。 ● 審判報告は、主審が所定の方法にて試合の当日中に運営委員へ結果を報告する。 大会実行委員は速やかに、大会結果をgoalnotecloudに展開する。 ● 本大会の優勝及び準優勝チームには、翌年のシード権の資格を与える。

(2023シーズン 秋季市民サッカー大会リーグ戦方式 シニアの部O35)

大会名	2023年度 船橋市秋季市民サッカー大会 シニアの部O35
主催	船橋市教育委員会、船橋市スポーツ協会
主管	船橋市サッカー協会第1種委員会
期日	9月～3月
会場	船橋市内会場
競技形式	<ul style="list-style-type: none"> ● 当リーグ戦は参加資格を得たチームで組織し、船橋市1種の実行委員会（運営委員会）を設け自主運営とする。 ● 当リーグは1回戦総当たりとし順位を決定する。 試合時間は全て50分（25分ハーフ）としハーフタイムのインターバルは原則として5分とする。 延長戦は行わない。 ● 順位は次に記すとおり、勝ち点・得失点差・得点率他の順によって決定する。 ① 勝ち点（勝＝3点、分＝1点、負＝0点）、② 得失点差（総得点－総失点） ③ 得点率（総得点÷総失点）、④ 当該チームの勝敗結果 ● 1試合中の交代選手は無制限とする。ただし交代は、提出されたメンバー票に記載された選手に限る。
競技規則	<ul style="list-style-type: none"> ● 2023/24（公財）日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則」による。 ただし、以下の項目については本大会規定を定める 1. 大会参加申し込みした選手のうち、各試合の登録選手は無制限とする。競技開始前のメンバー票と試合時の背番号が一致すること。 2. メンバーの交代は常時可能とする。交代したメンバーが再度交代メンバーにもなれる。 自由な交代を認める。交代の時は本部、審判に確認をし、指示を受けてから入る。 選手登録をしていれば、チーム事情により人数が不足している場合のみ、選手の貸し借りを許可し、重複出場選手として出場可能とする。 勢力均衡（バランスオブパワー）を保つため、貸し借りによる出場選手は4名までとする。 3. 本大会において退場を命じられた者（警告2枚での退場者を含む）は、次の公式試合1試合に出場できない。 悪質と認められる場合の処置については、運営委員会で協議しこれを裁定する。 なお、リーグ戦における警告処分は、持ち越さないものとする。 4. ユニフォームは、団体登録で記載した正副2着を必ず携帯すること。 （FP・GK共に副は、シャツ・ショーツ・ストッキングそれぞれ正と明瞭に区別された異色のものであること） ただし、対戦相手と色が重なった場合にはビブスの着用を可とする。 5. 雨天は、原則決行とする。 6. 試合球のボールは2球持ち寄りとする（公認球） 7. メンバー票はゲーム開始5分前に審判に提出する 使用するメンバー票は「当日チーム利用者名簿＆メンバーシート」を利用する。 8. 飲水タイム・クーリングブレイクについては実施規則とし、概ね7月から9月末までとなっているので 本大会では10月以降は、基本、設けない。 ただし、WBGTの指標としWBGT（湿球黒球温度）が25℃以上の場合は「飲水タイム」または「クーリングブレイク」を、28℃以上では「クーリングブレイク」を行うこともある。 その場合の判断は、運営委員が大会運営部長に事前に確認を取り、適用する。 9. 審判員は、試合を行うチーム以外の2チームより各2名の計4名を選出し、一方のチームは主審と第4審判、他方のチームは副審を担当する。なお、割り当てについては、運営部で決定する。 主審については、必ず有資格者が行う。また、副審及び第4審判についても有資格者が行うことが好ましい。 審判員は、主審、副審とも審判服（黒）が望ましいが、試合チームと異色のものであって、はっきりと確認できる場合は、黒以外の服装でも可とする。（ビブス等）

	<p>審判の時間の割り当ては下記の通りとする。</p> <p>1日3試合の場合は、 第1試合⇒第2試合のホームチーム 第2試合⇒第1試合のホームチーム・第3試合アウェイチーム 第3試合⇒第2試合のアウェイチーム</p> <p>1日2試合または4試合の場合は、 第1試合⇒第2試合の両チーム 第2試合⇒第1試合の両チーム 第3試合⇒第4試合の両チーム 第4試合⇒第3試合の両チーム</p> <p>10. 正当なものであっても、相手選手と接触あるいは干渉するスライディング プレーの禁止。 （直接FK、イエローカード対象） ＊スライディングとは足以外の体の部位（太腿・お尻・手など）が地面に接することをいう。 ＊スライディングについてはルール補足事項を参照する。 ＊危険な行為及び非紳士の行為等で指示に従わない時は、レフリーの権限で選手交代を促すことができる。 ＊シンピンの適用。（退場とせず、交代を即し冷静な判断ができるようにし、再出場を認めるなどの誘導をする。）</p> <p>11. 試合途中でも雷鳴が聞こえたり雷雲が近づいたりする様子がある時は、試合続行の可否を運営委員若しくは審判委員会が判断、協議し決定する。</p> <p>12. 新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインに沿って運営・参加する。</p> <p>13. チーム内(選手)にコロナウイルス感染者が出て出場が許可されない場合、不戦敗とする。</p>
中止・中断について	<p>試合中における中止・中断の決定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 会場の運営委員の判断に委ねるものとする 原則雨天決行とするが、グラウンドコンディション不良（ラインが引けない）等による中止の場合は当日、朝7時30分までに決定し、運営委員より各チーム代表者へ連絡する。 ● その後の処置は実行委員会（運営委員会）において協議の上決定する ● 雷の音が鳴ってから試合再開までの待機時間は最大30分とする(最後の雷から20分後に再開) ● 一方の責任により中止になった場合は、帰責事由のあるチームを0対5の負けとする。 ● 大会実施要項に記載されていない事項については、大会実行委員会（運営委員会）において協議の上決定する。
棄権について	<ul style="list-style-type: none"> ● 棄権としての厳罰は、しない。 勝敗については、棄権したチームを0対5の負けとする。 ただし、棄権の連絡は5日前を厳守として、連絡をおこなう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 選手不足等の理由で棄権をする場合は、棄権の連絡を5日前までに適正に実施すること。 交流戦としても対戦を認める。（その場合もルールは本大会の競技規則に則る） 交流戦としての対戦は運営部で組み合わせを事前におこない、実施させること。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ● コロナ対策関係は、健康チェックシート等、船橋市サッカー協会のガイドラインに従う。 ● コロナワクチン接種後については、一時的に免疫力が下がることを避けるために激しい運動は禁止となるため、1週間程度、参加は無理をさせないようにチームで選手の管理をすること。 ● 運営部は感染症対策（検温器・アルコール消毒液・除菌洗剤）を準備設営をおこない、参加チームの選手個人も自主的に備品の準備を行い、感染症の自衛に努めること。 ● 会場に迷惑をかけないこと。（会場運営ガイドラインに則り、利用する） 会場利用について、特例の案内が来た場合は、運営部は速やかに、別紙として注意喚起をおこなうこと。 ● 事故・ケガ等が発生した場合は、必ず運営部に報告する。また処置については、救急対応マニュアルを参照し、救護については、各チームにて責任をもってあたること。 ● 審判報告は、主審が所定の方法にて試合の当日中に運営委員へ結果を報告する。 大会実行委員は速やかに、大会結果をgoalnotecloudに展開する。

(2023シーズン春季市民サッカー大会トーナメント方式 シニアの部O50)

大会名	2023年度 船橋市春季市民サッカー大会 シニアの部O50
主催	船橋市教育委員会、船橋市スポーツ協会
主管	船橋市サッカー協会第1種委員会
期日	4月～9月
会場	船橋市内会場
競技形式	<ul style="list-style-type: none"> ● 当トーナメントは参加資格を得たチームで組織し、船橋市1種の実行委員会（運営委員会）を設け自主運営とする。 ● 当トーナメントはノックアウト方式として順位を決定する。 試合時間は全て50分（25分ハーフ）としハーフタイムのインターバルは原則として5分とする。 延長戦は行わない。同点の場合は、PK戦により決定する。 ● 1 試合中の交代選手は無制限とする。ただし交代は、提出されたメンバー票に記載された選手に限る。
競技規則	<ul style="list-style-type: none"> ● 2023/24（公財）日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則」による。 ただし、以下の項目については本大会規定を定める <ol style="list-style-type: none"> 1. 大会参加申し込みした選手のうち、各試合の登録選手は無制限とする。競技開始前のメンバー票と試合時の背番号が一致すること。 2. メンバーの交代は常時可能とする。交代したメンバーが再度交代メンバーにもなれる。 自由な交代を認める。交代の時は本部、審判に確認をし、指示を受けてから入る。 選手登録をしていれば、チーム事情により人数が不足している場合のみ、選手の貸し借りを許可し、重複出場選手として出場可能とする。 3. 本大会において退場を命じられた者（警告2枚での退場者を含む）は、次の公式試合1試合に出場できない。 悪質と認められる場合の処置については、運営委員会で協議しこれを裁定する。 なお、トーナメントにおける警告処分は、持ち越さないものとする。 4. ユニフォームは、団体登録で記載した正副2着を必ず携帯すること。 （FP・GK共に副は、シャツ・ショーツ・ストッキングそれぞれ正と明瞭に区別された異色のものであること） 対戦相手と色が重なった場合にはピブスの着用を可とする。 個人申請チームについては、ピブスの着用の対応とする。 5. 雨天は、原則決行とする。 6. 試合球のボールは2球持ち寄りとする（公認球） 7. メンバー表はゲーム開始5分前に審判に提出する 使用するメンバー票は「当日チーム利用者名簿＆メンバーシート」を利用する。 8. 飲水タイム・クーリングブレイクについては実施規則とし、概ね7月から9月末までとなっているので 本大会では対象の期間は実施する。 対象期間は、WBGTの指標としWBGT（湿球黒球温度）が25℃以上の場合は「飲水タイム」または「クーリングブレイク」を、28℃以上では「クーリングブレイク」を行う。 9. 審判員は、試合を行うチーム以外の2チームより各2名の計4名を選出し、一方のチームは主審と第4審判、他方のチームは副審を担当する。なお、割り当てについては、運営部で決定する。 主審、副審及び第4審判については有資格者が行うことが好ましい。 審判員は、主審、副審とも審判服（黒）が望ましいが、試合チームと異色のものであって、はっきりと確認できる場合は、黒以外の服装でも可とする。（ピブス等） 審判の時間の割り当ては下記の通りとする。 1日3試合の場合は、 第1試合⇒第2試合のホームチーム 第2試合⇒第1試合のホームチーム・第3試合アウェイチーム 第3試合⇒第2試合のアウェイチーム 1日2試合または4試合の場合は、 第1試合⇒第2試合の両チーム 第2試合⇒第1試合の両チーム 第3試合⇒第4試合の両チーム 第4試合⇒第3試合の両チーム

	<p>10. 正当なものであっても、相手選手と接触あるいは干渉するスライディング プレーの禁止。 (直接FK、イエローカード対象) * スライディングとは足以外の体の部位（太腿・お尻・手など）が地面に接することをいう。 * スライディングについてはルール補足事項を参照する。 * 危険な行為及び非紳士の行為等で指示に従わない時は、レフリーの権限で選手交代を促すことができる。 * シンピンの適用。(退場とせず、交代を即し冷静な判断ができるようにし、再出場を認めるなどの誘導をする。)</p> <p>11. 試合途中でも雷鳴が聞こえたり雷雲が近づいたりする様子がある時は、試合続行の可否を運営委員若しくは審判委員会が判断、協議し決定する。</p> <p>12. 新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインに沿って運営・参加する。</p> <p>13. チーム内(選手)にコロナウイルス感染者が出て出場が許可されない場合、不戦敗とする。</p>
中止・中断について	<p>試合中における中止・中断の決定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 会場の運営委員の判断に委ねるものとする 原則雨天決行とするが、土の会場を使用する場合、グラウンドコンディション不良（ラインが引けない）等による中止の場合は、当日、朝7時30分までに決定し、運営委員より各チーム代表者へ連絡する。 ● その後の処置は実行委員会（運営委員会）において協議の上決定する ● 雷の音が鳴ってから試合再開までの待機時間は最大30分とする(最後の雷から20分後に再開) ● 一方の責任により中止になった場合は、帰責事由のあるチームを0対5の負けとする。 ● 大会実施要項に記載されていない事項については、大会実行委員会（運営委員会）において協議の上決定する。
棄権について	<ul style="list-style-type: none"> ● 棄権としての厳罰は、しない。 勝敗については、棄権したチームを0対5の負けとする。 ただし、棄権の連絡は5日前を厳守として、連絡をおこなう。 ・ 選手不足等の理由で棄権をする場合は、棄権の連絡を5日前までに適正に実施すること。 交流戦としても対戦を認める。(その場合もルールは本大会の競技規則に則る) 交流戦としての対戦は運営部で組み合わせを事前におこない、実施させること。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ● トーナメントの抽選を対面で実施しない場合、自動抽選のくじ引きツールを使用し適正な方法で実施する。 その場合、大会実行委員は、抽選の正当性を保有するため、抽選時の動画と共に結果を周知すること。 ● コロナ対策関係は、健康チェックシート等、船橋市サッカー協会のガイドラインに従う。 ● コロナワクチン接種後については、一時的に免疫力が下がることを避けるために激しい運動は禁止となるため、1週間程度、参加は無理をさせないようにチームで選手の管理をすること。 ● 運営部は感染症対策（検温器・アルコール消毒液・除菌洗剤）を準備設営をおこない、参加チームの選手個人も自主的に備品の準備を行い、感染症の自衛に努めること。 ● 会場に迷惑をかけないこと。(会場運営ガイドラインに則り、利用する) 会場利用について、特例の案内が来た場合は、運営部は速やかに、別紙として注意喚起をおこなうこと。 ● 事故・ケガ等が発生した場合は、必ず運営部に報告する。また処置については、救急対応マニュアルを参照し、救護については、各チームにて責任をもってあたること。 ● 審判報告は、主審が所定の方法にて試合の当日中に運営委員へ結果を報告する。 大会実行委員は速やかに、大会結果をgoalnotecloudに展開する。 ● 本大会の優勝及び準優勝チームには、翌年のシード権の資格を与える。

(2023シーズン秋季市民サッカー大会トーナメント方式 シニアの部O50)

大会名	2023年度 船橋市秋季市民サッカー大会 シニアの部O50
主催	船橋市教育委員会、船橋市スポーツ協会
主管	船橋市サッカー協会第1種委員会
期日	10月～3月
会場	船橋市内会場
競技形式	<ul style="list-style-type: none"> ● 当トーナメントは参加資格を得たチームで組織し、船橋市1種の実行委員会（運営委員会）を設け自主運営とする。 ● 当トーナメントはノックアウト方式として順位を決定する。 試合時間は全て50分（25分ハーフ）としハーフタイムのインターバルは原則として5分とする。 延長戦は行わない。同点の場合は、PK戦により決定する。 ● 1 試合中の交代選手は無制限とする。ただし交代は、提出されたメンバー票に記載された選手に限る。
競技規則	<ul style="list-style-type: none"> ● 2023/24（公財）日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則」による。 ただし、以下の項目については本大会規定を定める <ol style="list-style-type: none"> 1. 大会参加申し込みした選手のうち、各試合の登録選手は無制限とする。競技開始前のメンバー票と試合時の背番号が一致すること。 2. メンバーの交代は常時可能とする。交代したメンバーが再度交代メンバーにもなれる。 自由な交代を認める。交代の時は本部、審判に確認をし、指示を受けてから入る。 選手登録をしていれば、チーム事情により人数が不足している場合のみ、選手の貸し借りを許可し、重複出場選手として出場可能とする。 3. 本大会において退場を命じられた者（警告2枚での退場者を含む）は、次の公式試合1試合に出場できない。 悪質と認められる場合の処置については、運営委員会で協議しこれを裁定する。 なお、トーナメントにおける警告処分は、持ち越さないものとする。 4. ユニフォームは、団体登録で記載した正副2着を必ず携帯すること。 （FP・GK共に副は、シャツ・ショーツ・ストッキングそれぞれ正と明瞭に区別された異色のものであること） 対戦相手と色が重なった場合にはピブスの着用を可とする。 個人申請チームについては、ピブスの着用の対応とする。 5. 雨天は、原則決行とする。 6. 試合球のボールは2球持ち寄りとする（公認球） 7. メンバー表はゲーム開始5分前に審判に提出する 使用するメンバー票は「当日チーム利用者名簿＆メンバーシート」を利用する。 8. 飲水タイム・クーリングブレイクについては実施規則とし、概ね7月から9月末までとなっているので 本大会では10月以降は、基本、設けない。 ただし、WBGTの指標としWBGT（湿球黒球温度）が25℃以上の場合は「飲水タイム」または「クーリングブレイク」を、28℃以上では「クーリングブレイク」を行うこともある。 その場合の判断は、運営委員が大会運営部長に事前に確認を取り、適用する。 9. 審判員は、試合を行うチーム以外の2チームより各2名の計4名を選出し、一方のチームは主審と第4審判、他方のチームは副審を担当する。なお、割り当てについては、運営部で決定する。 主審、副審及び第4審判については有資格者が行うことが好ましい。 審判員は、主審、副審とも審判服（黒）が望ましいが、試合チームと異色のものであって、はっきりと確認できる場合は、黒以外の服装でも可とする。（ピブス等） 審判の時間の割り当ては下記の通りとする。 1日3試合の場合は、 第1試合⇒第2試合のホームチーム 第2試合⇒第1試合のホームチーム・第3試合アウェイチーム 第3試合⇒第2試合のアウェイチーム 1日2試合または4試合の場合は、 第1試合⇒第2試合の両チーム 第2試合⇒第1試合の両チーム 第3試合⇒第4試合の両チーム 第4試合⇒第3試合の両チーム

	<p>10. 正当なものであっても、相手選手と接触あるいは干渉するスライディング プレーの禁止。 (直接FK、イエローカード対象) * スライディングとは足以外の体の部位（太腿・お尻・手など）が地面に接することをいう。 * スライディングについてはルール補足事項を参照する。 * 危険な行為及び非紳士の行為等で指示に従わない時は、レフリーの権限で選手交代を促すことができる。 * シンピンの適用。(退場とせず、交代を即し冷静な判断ができるようにし、再出場を認めるなどの誘導をする。)</p> <p>11. 試合途中でも雷鳴が聞こえたり雷雲が近づいたりする様子がある時は、試合続行の可否を運営委員若しくは審判委員会が判断、協議し決定する。</p> <p>12. 新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインに沿って運営・参加する。</p> <p>13. チーム内(選手)にコロナウイルス感染者が出て出場が許可されない場合、不戦敗とする。</p>
中止・中断について	<p>試合中における中止・中断の決定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 会場の運営委員の判断に委ねるものとする 原則雨天決行とするが、土の会場を使用する場合、グラウンドコンディション不良（ラインが引けない）等による中止の場合は、当日、朝7時30分までに決定し、運営委員より各チーム代表者へ連絡する。 ● その後の処置は実行委員会（運営委員会）において協議の上決定する ● 雷の音が鳴ってから試合再開までの待機時間は最大30分とする(最後の雷から20分後に再開) ● 一方の責任により中止になった場合は、帰責事由のあるチームを0対5の負けとする。 ● 大会実施要項に記載されていない事項については、大会実行委員会（運営委員会）において協議の上決定する。
棄権について	<ul style="list-style-type: none"> ● 棄権としての厳罰は、しない。 勝敗については、棄権したチームを0対5の負けとする。 ただし、棄権の連絡は5日前を厳守として、連絡をおこなう。 ・ 選手不足等の理由で棄権をする場合は、棄権の連絡を5日前までに適正に実施すること。 交流戦としても対戦を認める。(その場合もルールは本大会の競技規則に則る) 交流戦としての対戦は運営部で組み合わせを事前におこない、実施させること。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ● トーナメントの抽選を対面で実施しない場合、自動抽選のくじ引きツールを使用し適正な方法で実施する。 その場合、大会実行委員は、抽選の正当性を保有するため、抽選時の動画と共に結果を周知すること。 ● コロナ対策関係は、健康チェックシート等、船橋市サッカー協会のガイドラインに従う。 ● コロナワクチン接種後については、一時的に免疫力が下がることを避けるために激しい運動は禁止となるため、1週間程度、参加は無理をさせないようにチームで選手の管理をすること。 ● 運営部は感染症対策（検温器・アルコール消毒液・除菌洗剤）を準備設営をおこない、参加チームの選手個人も自主的に備品の準備を行い、感染症の自衛に努めること。 ● 会場に迷惑をかけないこと。(会場運営ガイドラインに則り、利用する) 会場利用について、特例の案内が来た場合は、運営部は速やかに、別紙として注意喚起をおこなうこと。 ● 事故・ケガ等が発生した場合は、必ず運営部に報告する。また処置については、救急対応マニュアルを参照し、救護については、各チームにて責任をもってあたること。 ● 審判報告は、主審が所定の方法にて試合の当日中に運営委員へ結果を報告する。 大会実行委員は速やかに、大会結果をgoalnotecloudに展開する。 ● 本大会の優勝及び準優勝チームには、翌年のシード権の資格を与える。